

#033 九州デジタルガバメント構想（その4）

データ駆動型社会を実現

谷口博文の政策イノベーション



デジタルガバメントは行政を変えるだけではありません。

目指すのはデータ活用による地域経済の飛躍的成長です。

今や日本中でデジタルトランスフォーメーションの必要性が叫ばれています。しかし企業も官庁も全く対応できていない。レガシーシステムで身動きが取れないのです。

（「2025年の崖」

https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/digital_transformation/pdf/20180907_03.pdf)

フィジカル空間はひとまず置いておいて、既成秩序にとらわれない新しいシステムをサイバー空間に構築するのが九州デジタルガバメントの最初の仕事です。つまりオープンデータの提供やデータの相互運用のための共通ルールの構築など、九州経済圏を念頭に置いたデータビジネス環境の整備です。

これは言うのは簡単だけど、現実には過去のしがらみで国がやるのも自治体がやるのも難しい。しかし九州政府は今存在しないからこそ、逆にこれまでにない新しいシステムを構築できるのです。

例えば九州デジタルガバメントへの納税は暗号資産に限るとすれば、九州には全く新しい経済圏が誕生するでしょう。

今までにない新しい官庁と企業による新しい経済活動が地域住民を豊かにする。これが九州デジタルガバメントのビジョンでありミッションです。